

看護学部

◎ 看護学科の3つの方針

◀看護学部看護学科が目指す人間像▶

人間性豊かで、思いやりの心を持ち、科学的に裏付けられた専門的な知識と判断力を身につける。さらに、すべての人々の健康問題への支援ができ、地域社会と密接に連携し、広く社会貢献できる看護職。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

大学設置基準にもとづき、本学が定める履修要件に沿って126単位以上を修得し、そのGPA値が原則2.0以上であって、以下の観点別能力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与する。

- I 【主体的・自立的に行動できる確かな人間力】（態度・志向性）
 - 1) 看護の対象となる人々の尊厳と権利を大切にし、尊重できる態度を身につけている。
 - 2) 保健・医療・福祉・教育分野のチームの一員として主体的に活動でき、援助的関係をつくる姿勢を身につけている。
 - 3) 生涯にわたり、学び続けていく姿勢と看護の発展や地域社会に貢献しようとする姿勢を身につけている。
- II 【専門職業人としての汎用的能力】（技能・表現）
 - 1) 対象となる人々や関連職種との信頼関係を築くためのコミュニケーション技能を身につけている。
 - 2) 対象となる人々や家族・集団・地域の健康問題について、成長発達や個人・家族を踏まえて、コミュニケーション技術やICTを活用して情報収集を行い、アセスメントできる。
 - 3) 健康問題の解決に向け、科学的根拠に基づき、看護援助技術を適切に活用して、計画的に看護実践できる。
- III 【教養ある専門職業人としての基礎力】（知識・理解）
 - 1) ICT技術などを活用し、看護職として必要な共通教育科目、専門基礎科目、専門科目に関する基礎知識を修得している。
 - 2) 健康で文化的な生活を営むために必要とされる健康の保持増進と疾病を予防する能力を身につけている。
 - 3) ICTによる情報収集および地域社会とのコミュニケーションを通じて、社会の動向を踏まえて看護のあり方を創造し、地域社会から学ぶための知識と方法を修得している。
- IV 【地域生活を支援し、創造する力】（行動・経験・創造的思考力）
 - 1) 地域の特性や社会資源に関する健康指標やデータから地域の課題と必要とされるケアを提案できる。
 - 2) 保健・医療・福祉・教育分野における看護活動と看護ケアの発展について考えることができる。
 - 3) 保健・医療・福祉・教育分野における多職種・チーム協働と連携を行う能力を身につけている。

教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・高い実践力を修得していくために、臨床判断能力の基礎となるいのちの科学、健康支援と社会福祉のしくみを配置する。
- ・専門職として必要な看護学に関する基礎知識を修得するために、基盤看護学領域、看護実践学領域、看護統合学領域を配置する。
- ・臨床判断能力を身につけ、多職種及び地域社会と協働できる専門的な支援を修得するために、領域別の看護学演習・実習等を配置する。
- ・人々の生活と人権を考慮し、多種多様な文化や価値観、地域社会の諸問題に関心を持ち看護実践能力を高めるために、地域支援看護学群の科目を早期から卒業まで一連の流れで配置する。

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

看護学部では、対象となる人々が地域でその人らしく生きることを支える看護専門職を育成することを目的とし、次のような能力、意欲、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とする。

- ①人間や健康およびそれを取り巻く地域社会に関心をもった思いやりのある人
- ②物事を探求する意欲があり、生涯にわたって学び続けたいと思う人
- ③将来、看護職として地域社会に貢献したいと考えている人
- ④大学教育に対応するために必要な基礎学力を備えている人

以上のような基本方針に基づき、人々の生活と人権を尊重し、相手の立場で考えることのできる豊かな心とコミュニケーション能力を持っている。また保健・医療・福祉の専門職として、地域の人々の健康問題に積極的に取り組み、地域に貢献しようとする意欲のある学生を積極的に受け入れる。